

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 19 日 (2020.3.19)

【公表番号】特表 2019-508403 (P2019-508403A)

【公表日】平成 31 年 3 月 28 日 (2019.3.28)

【年通号数】公開・登録公報 2019-012

【出願番号】特願 2018-540794 (P2018-540794)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 K 38/20 (2006.01)

A 6 1 K 38/36 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/16 (2006.01)

C 1 2 N 15/54 (2006.01)

C 1 2 N 15/63 (2006.01)

C 1 2 N 9/12 (2006.01)

A 6 1 K 35/761 (2015.01)

A 6 1 K 35/76 (2015.01)

【 F I 】

A 6 1 K 39/00 Z N A H

A 6 1 K 39/39

A 6 1 K 38/20

A 6 1 K 38/36

A 6 1 P 37/04

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/02

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 P 43/00 1 7 1

A 6 1 K 38/16

C 1 2 N 15/54

C 1 2 N 15/63 Z

C 1 2 N 9/12

A 6 1 K 35/761

A 6 1 K 35/76

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 3 日 (2020.2.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

配列番号 1 のポリヌクレオチド配列、配列番号 1 と少なくとも 95 % 同一であるポリヌクレオチド配列；配列番号 2 のアミノ酸配列をコードするポリヌクレオチド配列；及び配列番号 2 と 95 % 同一であるアミノ酸配列をコードするポリヌクレオチド配列、またはそれらの任意の組み合わせからなる群より選択されるポリヌクレオチド配列を含む核酸分子を含むワクチン。

## 【請求項 2】

前記核酸分子が、配列番号 1 のポリヌクレオチド配列または配列番号 1 と 95 % 同一であるポリヌクレオチド配列を含む、請求項 1 に記載のワクチン。

## 【請求項 3】

前記核酸分子が、配列番号 2 のアミノ酸配列または配列番号 2 と 95 % 同一であるアミノ酸配列をコードするポリヌクレオチド配列を含む、請求項 1 に記載のワクチン。

## 【請求項 4】

前記核酸分子がプラスミドである、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のワクチン。

## 【請求項 5】

前記プラスミドが、配列番号 3 の核酸配列を含む、請求項 4 に記載のワクチン。

## 【請求項 6】

アジュバントをさらに含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載のワクチン。

## 【請求項 7】

前記アジュバントが、IL - 12、IL - 15、IL - 28、または RANTES である、請求項 6 に記載のワクチン。

## 【請求項 8】

哺乳動物においてテロメラーゼ逆転写酵素 (TERT) に対する免疫応答を誘導するための、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載のワクチンであって、当該ワクチンはそれを必要とする哺乳動物に投与され、それによって前記核酸分子が前記哺乳動物において発現され、かつ以下の免疫応答：

- (a) TERT に特異的な体液性免疫応答、
  - (b) ワクチンを投与されていない哺乳動物と比較して腫瘍壊死因子 - (TNF - ) 及びインターフェロン - (IFN - ) のレベルの上昇を含む炎症反応、及び
  - (c) TERT に特異的な細胞性免疫応答、
- のうちの 1 つ以上が誘導される、ワクチン。

## 【請求項 9】

(a) 前記哺乳動物がイヌであり、前記 TERT がイヌ TERT (dTERT) であり

(b) 前記哺乳動物ががんを有し、および / または

(c) 前記ワクチンがエレクトロポレーションによって投与される、  
請求項 8 に記載のワクチン。

## 【請求項 10】

哺乳動物のがんを処置するための、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載のワクチンであって、当該ワクチンは薬学的に許容される担体と組み合わされてそれを必要とする哺乳動物に投与され、前記核酸分子が哺乳動物で発現され、がんが処置される、ワクチン。

## 【請求項 11】

前記ワクチンがエレクトロポレーションによって投与される、請求項 10 に記載のワクチン。

## 【請求項 12】

前記哺乳動物がイヌである、請求項 10 または 11 に記載のワクチン。

## 【請求項 13】

前記がんが、黒色腫、前立腺癌、肝臓癌、子宮頸癌、再発性呼吸乳頭腫症 (RRP)、肛門癌、頭頸部癌、血液癌、白血病、リンパ腫、骨髄腫、肺癌、非小細胞肺癌、食道扁平

上皮癌、膀胱癌、結腸直腸癌、胃癌、肝細胞癌、脳腫瘍、グリア芽細胞腫、膵臓癌、滑膜癌、精巣癌、及び胃癌、またはそれらの任意の組み合わせからなる群より選択される、請求項 10 ~ 12 のいずれか 1 項に記載のワクチン。

【請求項 14】

配列番号 1 のポリヌクレオチド配列または配列番号 1 と少なくとも 95 % 同一であるポリヌクレオチド配列を含む核酸分子。

【請求項 15】

配列番号 2 のアミノ酸配列をコードするポリヌクレオチド配列を含む核酸分子。

【請求項 16】

配列番号 3 のポリヌクレオチド配列を含む、請求項 14 または 15 に記載の核酸分子。

【請求項 17】

配列番号 2 のアミノ酸配列または配列番号 2 と少なくとも 95 % 同一であるアミノ酸配列を含むポリペプチド。

【請求項 18】

がんを治療するためのワクチンを製造するための、配列番号 1 のポリヌクレオチド配列、配列番号 1 と少なくとも 95 % 同一であるポリヌクレオチド配列；配列番号 2 のアミノ酸配列をコードするポリヌクレオチド配列；及び配列番号 2 と 95 % 同一であるアミノ酸配列をコードするポリヌクレオチド配列、またはそれらの任意の組み合わせを含む核酸分子の使用。

【請求項 19】

免疫応答を誘導する医薬を製造するための、配列番号 1 のポリヌクレオチド配列、配列番号 1 と少なくとも 95 % 同一であるポリヌクレオチド配列；配列番号 2 のアミノ酸配列をコードするポリヌクレオチド配列；及び配列番号 2 と 95 % 同一であるアミノ酸配列をコードするポリヌクレオチド配列、またはそれらの任意の組み合わせを含む核酸分子の使用。

【請求項 20】

配列番号 4 のポリヌクレオチド配列を含む核酸分子。

【請求項 21】

前記核酸分子がプラスミドである、請求項 14 に記載の核酸分子。

【請求項 22】

配列番号 5 のアミノ酸配列を含むポリペプチド。

【請求項 23】

請求項 20 または 21 に記載の核酸分子を含むワクチン。

【請求項 24】

アジュバントを更に含む、請求項 23 に記載のワクチン。

【請求項 25】

前記アジュバントが、IL - 12、IL - 15、IL - 28、または RANTES である、請求項 24 に記載のワクチン。

【請求項 26】

がんを治療するための医薬を製造するための、請求項 20 または 21 に記載の核酸分子の使用。

【請求項 27】

免疫応答を誘導するための医薬を製造するための、請求項 20 または 21 に記載の核酸分子の使用。